

**子どもがふみだす
ふくしま復興体験応援事業
成果発表会・事業説明会**

平成27年2月27日（土）10時30分より
ホテル福島グリーンパレス

福島県教育委員会

1 事業の概要について

事業説明

東日本大震災から5年

支援

・震災（地震・津波被害）

支援

・原発事故（避難生活）

支援

・風評被害（農林水産物）

- 1 事業の概要について
- 2 申請について
- 3 採択条件について
- 4 採択後について

国内外からの温かい支援

感謝の気持ち

**福島復興に
貢献しようとする想い**

子どもたちの**想い**を
具現化できる機会を提供

子どもたちが**主体**となった
社会体験活動・社会貢献活動

活動を「**補助金**」で支援

事業3：起業体験 ふくしまを発信！



事業1：避難者へ元気を！



<本事業の補助金額について>

補 助 率

補助事業対象経費の8 / 10以内
又は
補助上限額のいずれか低い額

事業2：一人一人が復興大使！



<本事業の補助金額について>

事業1 ・ 上限 50万円 (予定)

事業2 ・ 上限300万円 (予定)

事業3 ・ 上限300万円 (予定)

2 申請について

申請団体について（２）

- 学校（国公立、私立）
- 市町村（学校教育、生涯学習等）
- PTA組織（学校、県、各地域）
- 特定非営利活動法人
- 子ども会（県、各地域）
- 公益法人
- 復興支援団体
- 協同組合
- 民間企業 等
- 任意団体
- 青年会議所
- 民間団体

申請団体について（１）

- ・ 福島県内に主たる活動拠点又は事務所を有していること。
- ・ 地域において青少年育成活動に取り組んでいること。
- ・ 宗教活動、政治的活動を行っていないこと。

申請団体について（３）

- 市町村＋任意団体
- 学校＋PTA組織＋民間企業
- 特定非営利活動法人＋子ども会
- 実施主体団体（学校等）の単独



組み合わせはいろいろ！

- ・ 著しく特定の個人及び団体の利益を図る活動を実施していないこと。
- ・ 定款や規約又はそれに相当する文書を有していること。
- ・ 継続的に活動を行う団体であること。

申請内容について

<事業１・事業２・事業３のいずれかとする>

事業１：避難者・被災者等との交流

事業２：風評被害を受けた地域や友好都市等との「福島や地域の復興発信」をメインとした交流活動

事業３：子どもたちが学んでいる専門性を生かしたふくしまの元気や安心・安全を国内外に発信するPR活動

申請書類について

- 補助金交付申請書（第1号様式）
- 事業計画書（第2号様式）※
- 収支予算書（第3号様式）
- 団体概要書（第4号様式）

※ 連携団体がある場合は、連携団体の団体概要書及び連携団体申出書

○ 添付書類

- ・ 定款、規約、会則等
- ・ 直近の役員名簿
- ・ 直近の活動内容や活動事例等資料

避難者に元気を

避難者や被災者と交流を通して子ども達が元気を発信する活動



一人一人が復興大使

国内外等、他の地域の方々との交流を行い、地域の復興を考え、本県の復興を発信する活動



3 採択条件について

起業体験 ふくしまを発信

学校等で学んだ専門性を生かして、復興PRや商品開発・販売等で福島を発信する活動



**実際活動の主役は
県内の子ども達です**

子ども達が
考え

子ども達が
判断し

子ども達が
行動を起こす

社会体験活動

**その他申請時に留意
していただきたいこと**



活動主体は子ども

継続的な復興体験

避難者・被災者交流

実現困難な内容が含まれ、事業者の
過大な負担にはなっていませんか？

継続的に安定した事業運営を
進めることはできそうですか？

新しい活動展開の可能性があり、
補助事業終了後も継続できる
組織体制は整っていますか？

地域交流・復興PR

子どもが成長する事業

補助金は子どものために

事業概要、事業計画は、参加する
子どもや対象者にとって、教育的価値の
高い内容になっていますか？

独自のアイデアや先進性、
企画全体の完成度は高いですか？

2/10の自己負担分の
資金確保は可能ですか？

「自然体験活動」や「保養」が中心の活動内容になっていませんか？

「〇〇大会」「〇〇発表会」へ参加することがメインで、旅費等の捻出目的ではありませんか？

補助金の主な使途が、大人の人件費や機材等の購入代になっていませんか？

事業実施について

○ 予算の適正な執行。

※実施要項「補助金の対象となる経費」

○ 補助金概算払い請求書（第10号様式）

※事業実施に必要な際はご請求ください。

○ 実施状況報告書（第6号様式）

※事業内容等が不明な場合に報告を求めることがあります。

○ 事業終了の目安

※実績報告書等の精査に時間を要するため、基本的に2月末日までの事業計画を。

4 採択後について

事業実施について

◎ 本事業名を明記する

○ 実施要項への記載

○ 実施会場への掲示

○ メディア（新聞・テレビ等）

※例

「福島県教育委員会 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」の補助を受けて～

採 択 通 知

事 業 実 施（※）

事業実績確認（県担当）

事業終了後報告決算等

（※）参加者へアンケート実施
（※）採択通知（期日）前の物品等の購入は認めない。

事業実績確認について

○ 事業実績確認作業

※県担当者による「教育的視点」に基づく事業の確認、助言。

○ 報道への情報提供

※ テレビ、新聞、教育委員会発行文書等

○ 文書・チラシへの写真掲載

※県教育委員会発行の文書やチラシに提供いただいた写真や実績確認した際の記録写真等を使用させていただくことがあります。

（掲載拒否の場合は事前にお申し出ください）

報告書類について

- 完了報告書（第7号様式）
 - 実績報告書（第8号様式）
 - 収支決算書（第8号様式の別紙2）
 - 補助金交付請求書（第9号様式）
- ※ 全額概算払いの場合は必要ありません。

福島の未来を担う
子どもたちの
成長のために、
皆で力を合わせて
取り組んでいきましょう！

成果発表会・ 事業説明会について

◎年度末に開催（2月頃）

- 取り組みの成果を発表していただきます。
（会場や時間の関係上、数団体の発表）
- 初めて説明を聞く方を前提とした事業説明を行います。
- 有識者より事業実践内容等への講評をいただきます。
- 参加者相互の情報交換を行います。
- 採択団体は、基本的に参加していただきます。

平成28年度の募集について

◇平成28年4月 1日（金）

午前9時より

◇平成28年5月10日（火）

午後5時15分必着

- 提出方法：郵送又は持参
- 提出場所：県教育庁社会教育課
〒960-8688 福島市杉妻町2番16号
（福島県庁西庁舎9階）